

2016年7月10日(日)朝10:10～
7月第2共同主日礼拝式説教

聖霊降臨節第9、役員会
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：わたしは、戸の前に立って叩いている

聖書:ヨハネの黙示録 3章14～22節

＜口語訳＞

新約聖書390頁

ヨハネの黙示録 3章14～22節

＜新共同訳＞

新約聖書456～457頁

ヨハネの黙示録 3章14～22節

＜新改訳第3版＞

新約聖書4780～481頁

ヨハネの黙示3章14～22節＜塚本訳＞

新約聖書785～786頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
 - ◇ヨハネ黙示録1章では、神の御子イエス・キリスト様の再臨信仰を持って生きるキリスト者への励ましのことばと黙示の神の御子イエス・キリスト様の愛の思いが啓示され、2章1～7節は、エペソ教会へ、8～11節は、スミルナの教会へ、12～17節は、ペルガモ教会へ、18～29節は、テアテラ教会へ、3章1～6節は、サルデス教会へ、7～13節は、フィラデルフィヤ教会へ手紙です。
 - ◇ヨハネの黙示録3章14～22節は、ラオデキヤの教会へ手紙です。
- ⇒ラオデキヤは、フィラデルフィヤの南東80kmで、金融機関が整い、黒衣の生産、目薬の製造で、経済的に豊かな、フルギヤ地方都市で、「豊かさ」を誇った都市でした。

本論；

◇本日、ヨハネ黙示録第3章14～22節から
主の使信に思い・心をとめます。

◆**黙示録3章14節**；主は、ラオデキヤの教会には、アメンなるお方、真実で忠実なお方、ら神が創造されたものの根源なるお方としてご自身を啓示されました。

◇14～22節；塚本訳◆ラオデキヤ教会への手紙

「14 また、ラオデキヤ教会の御使いに(手紙を)書け、アメンである者、忠実な、真実な証人、神の創造の本源である者がこう言う
と——」と、ヨハネは主からの手紙を書き、天使宛に送りました。

◇14節；「ラオデキヤの教会」への神の御子イエス・キリスト様は、「アメンである者、忠実な、真実な証人、神の創造の本源である者」と、ヨハネ書いています。

⇒「アメンである者、忠実な、真実な証人、神の創造の本源である者」は、語ったことばと行動が、一致していて、曖昧でない御子の姿です(イザヤ53、65章)。

◆ 黙示録3章15～17節；ラオデキヤ教会は、その信仰がなまぬるく、言行不一致でした。

◇ 14～22節；塚本訳◆ラオデキヤ教会への手紙

「15 私はお前の業を知っている。お前は冷たくもなければ熱くもない。(いっそ)冷たいか熱ければよいのに！

16 私はお前がこんなに生暖くて、熱くも冷たくもないから、お前を口から吐き出そうとしている。

17 お前は、「自分は金持ちである。金持ちになった。何も足りないものは無い」と言うて(いる。なるほどお前には金がある。しかし)自分(の精神)が(どんなに)惨めな、かわいそうな、貧乏な、盲目な、裸な者である(か)ということを知らない」と、ヨハネは主からの手紙を書き、天使宛に送りました。

◇ 15～16節；「ラオデキヤの教会」は、「冷たくもなければ熱くもない」神信仰で、主は「生暖くて、熱くも冷たくもないから、お前を口から吐き出そうとしている」と、評価されました。

⇒「神信仰のなまぬるさ」が、問われています。

◇17節；主は、「**ラオデキヤの教会**」が、「**自分は金持ちである。金持ちになった。何も足りないものは無い**」と経済的豊かさを口にして
いるが、**霊的には、「惨めな、かわいそうな、貧乏な、盲目な、裸な者である**」ことを「**知らない**」と、語りかけておられます。

⇒**ラオデキヤの教会**は、シリア王が王妃ラオディケーの名にちなんで「**ラオデキヤ**」と名付けられたほど、経済、金融などの豊かさを享受し、紀元60年の地震被害で、**フィラデルフィヤ**がローマ政府支援を求めた時、**ラオデキヤ**は、支援を断ったと伝えられていました。

⇒「**アーメンである者、忠実な、真実な証人、神の創造の本源である者**」は、「**ラオデキヤの教会**」の内面を見抜くお方です。

⇒**御子イエス・キリスト様**にとって、「**ラオデキヤの教会**」は、**霊的には、「惨めな、かわいそうな、貧乏な、盲目な、裸な者である**」が見え、経済的豊かさは、「**ラオデキヤの教会**」の滅亡には、何の役にも立っていないことがきがかりです。

⇒「**ラオデキヤの教会**」に人々も、実生活の豊かさに目が向き、心の貧しさに目が閉じました。

◆ 黙示録3章18～22節；主は、ラオデキヤの教会に、主から「火で煉った金を買ひ」、「白い衣を買ひ」、「目に塗る目薬を買いなさい」と、命じておられます。

◇ 14～22節；塚本訳 ◆ ラオデキヤ教会への手紙

「18 (だ)から私はお前に勧める——(一つ)私から火で煉った金を買って(本当の)金持ちになり、白い着物を買って、着て、お前の裸体の恥じが露されないようにし、目に塗る眼薬を買って、見えるようになれ。

19 (何も私のこの烈しい言に驚くことはない。)私は愛する者を罰し、また躰る。だから熱心になって、(早く)悔い改めよ。

20 視よ、私は(お前の家の)戸の前に立って叩いている(ではないか)。もし私の声を聞いて戸を開ける者があれば、私はそこに入って彼と一緒に、彼はまた私と一緒に食事をするであろう。

21 勝利者には私と一緒に私の座に坐ることを許すであろう。丁度私が勝って、私の父と一緒に彼の玉座に坐ったように！

22 耳を有っている者は、御霊が(全)教会に
何と言い給うかを聴け」と、ヨハネは主から
の手紙を書き、天使宛に送りました。

◇18～19節；「ラオデキヤの教会」は、靈的には、「惨めな、かわいそうな、貧乏な、盲目な、裸な者である」状態ゆえ、主は、「火で煉った金を買って(本当の)金持ちになり」、「白い着物を買って、着て、お前の裸体の恥じが露されない」し、「目に塗る眼薬を買って、見えるようになれ」と、「金」、「黒衣」、「目薬」で豊かになったが、神信仰に真実で、忠実であるため、主からは「靈的金」、「靈的白衣」、「靈的目薬」を買えと、命じられるのです。

⇒主にとって、「金」は、神信仰の標識

⇒主にとって、「白衣」は、勝利に輝く義の比喻

⇒主にとって、「目薬」は、疾患にかかわり、かすんだ目の視力を回復させる調整薬なのです。

⇒「ラオデキヤの人々」は、自分たちの利益のため「金、黒衣、目薬」を入手し、販売しましたが、主は、神信仰のために、主ご自身から「金、白衣、目薬」を買え、靈的豊かさを得よと。

◇20～22節；「私は愛する者を罰し、また躰る。だから熱心になって、(早く)悔い改めよ」、「視よ、私は(お前の家の)戸の前に立って叩いている」、「もし私の声を聞いて戸を開ける者があれば、私はそこに入って彼と一緒に、彼はまた私と一緒に食事をする」、「勝利者には私と一緒に私の座に坐ることを許すであろう。丁度私が勝って、私の父と一緒に彼の玉座に坐ったように」、「耳を有っている者は、御霊が(全)教会に何と言い給うかを聴け」と、主は、なまぬるい神信仰の生活を悔い改め、心の戸を主・御子イエス・キリスト様に向けて開くなら、主は、悔い改める人の心の中に入り、「一緒に食事をして下さる」、すなわち、「一緒に私の座に坐ることを許す」とありますように、「神の永遠の王、大祭司」として、共に生きる者として下さるのです。

⇒「神なき生活」が罪なのです。

⇒「火で煉った金を買って(本当の)金持ちになり、白い着物を買って、着て、お前の裸体の恥じが露されない、目に塗る眼薬を買って、見えるようになれ」の主の命令に忠実でありたい。

結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
 - ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
 - ◇ヨハネ黙示録1章では、神の御子イエス・キリスト様の再臨信仰を持って生きるキリスト者への励ましのことばと黙示の神の御子イエス・キリスト様の愛の思いが啓示され、2章1～7節は、エペソ教会へ、8～11節は、スミルナの教会へ、12～17節は、ペルガモ教会へ、18～29節は、テアテラ教会へ、3章1～6節は、サルデス教会へ、7～13節は、フィラデルフィヤ教会へ手紙です。
 - ◇ヨハネの黙示録3章14～22節は、ラオデキヤの教会へ手紙です。
- ⇒「さばき」は、神の専権事項、恵みも、神の専権事項、「神礼拝σέβομαι」に全力を注ぎたい。

- ⇒「祈り、願い、讚美、再宣言」と「神の愛と恵み」は、神のしもべの使命です。
- ⇒ヨハネに黙示されたことは、「神礼拝をする σέβομαι」ことに、「(主にある)患難、王国(における幸福)、イエス(来臨)の待望」をもって戦う「ヨハネの兄弟」とされたことを光栄に思う神の教会の人々によって継承されるのです。
- ⇒「ラオデキヤの教会」は、神信仰がなまぬるい状態でした。
- ⇒神信仰のなまぬるさは、神が吐き出したいと思われるほど、神が嫌悪される生活です。
- ⇒「ラオデキヤの教会」は、「悔い改め」、「金、黒衣、目薬」での利益追求を離れ、主が命じておられる「火で煉った金を買って(本当の)金持ちになり、白い義の着物を買って、着て、お前の裸体の恥じが露されない、目に塗る眼薬を買って、神の愛と祝福が見えるようになれ」との祝福のことばに聴従したい。
- ⇒アーメンである者、忠実な、真実な証人、神の創造の本源である者、神は、「悔い改めた人と一緒に食事」し、「一緒に主の座に坐ることを許す」神の愛を示して下さるのですから。